

# ふれあい

平成20年11月 第272号

大代地区コミュニティー推進協議会  
〈編集部〉

事務局：大代地区公民館

☎364-8442

## 〈掲載目次〉

- 家族の笑顔、壊すかは、あなた次第・・・1
- お節介のようですが・・・1
- 貞山運河周辺清掃・・・1
- 防災訓練を終えて・・・2
- ポーリング大会に参加しませんか・・・2
- ありがとうございます・・・2
- 公園内の犬の散歩(試行)の現況・・・3

- 大代の歩み(八)・・・3
- 戦争と耕英開拓地・・・3
- 大代地区コミュニティー  
グラウンドゴルフ大会終了・・・4
- ふれあい川柳・・・4

※紙面の関係上、今月掲載出来なかった投稿は来月号以降に掲載させていただきます。

### 家族の笑顔、壊すかは、

#### あなた次第

大代南 内ヶ崎 勝夫

週に何回くらい、家族全員揃って夕食をとっていますか。最近、家族でスポーツをしていますか。子供の担任の名前を知っていますか。こうした質問にドキツとするようなら要注意。明るい家庭をつくるため、まずあなたが率先して触れ合いの場を増やすよう努力していききたいものです。子供中心の家庭づくりは、決して悪いことではありません。ただし、何事もやりすぎは危険。過保護になってしまったり、親の価値観を無理に押しつけてしまったり、親の価値観を、逆に子供にとってマイナスになってしまいます。成長する子供の人生観や価値観を温かく見守り、必要な時には助言を与えていくというのが、うまい子供のつき合いです。子供の自立をバックアップしながら、親も一緒に成長していけるように、上手に「子離れ」のできる親でありたいものです。住宅事情や価値観の多様化などにより、様々な生活スタイルが生まれてきています。しかし、人間関係の基本は、どんなに時代が進んでも変わることはありません。家庭を構成する最も基本的な関係となる夫婦。特に自立期の子供を持つ年代は、仕事面でも働き盛りで、人生の中で一番多忙な時期といえます。こうした時こそ、真価を問わ

れるのが夫婦間の信頼関係。日頃からの充分な話し合いが必要です。

### お節介のようですが

大代南 伊藤 恵基

私は最近、図書の購入はやめて専ら図書館を利用しています。詳細は多賀城市立図書館大代分室から「利用案内」を貰って読んでください。新聞の新聞紹介や街の書店で読みたい本が著者と題名を書き留めて図書館分室の係に頼みます。分室にない本は本館更には県立図書館まで探してくれませぬ。図書館の棚にあるものを漫然と探すより係りに相談すると親切に検索してくれます。

私が最近読んで感銘を受けた本「人生生涯小僧のころ」著者は仙台秋保慈眼寺の住職、塩沼亮潤師、他にも「大峰千日回峰行(春秋社)」も出しております。昭和四十三年生まれで、限界を超えた荒行を通じて得られた塩沼師の珠玉のメッセージが、混沌とした日本の現状を憂い、次代に想いをかける皆さんの心に響くこと必定と思いを紹介しました。

### 貞山運河周辺清掃

去る十月十二日(日)に、秋の貞山運河周辺清掃を行いました。早朝から、六十名の参加をいただき、貞山運河沿いに落ちていた空き缶などのゴミを集めました。たくさんの方々のご協力ありがとうございました。

## 防災訓練を終えて

大代中 本郷 敏郎

近い将来起こるであろう宮城県沖地震を想定して、総合防災訓練を九月二十八日に行いました。今回の防災訓練を実施するに当たり、年度当初より数回の打合せ、検討会を重ね、その中で一番の目標は「自助・共助の意識向上を目的とする」事でした。この目的をいかに区民の方々に理解し、そして行動に移してもらえるか、数多くの討議がなされました。その中で、意識、関心を持つってもらう方法として、事前広報訓練を行いました。

その内容は、防災訓練の担当者及び班長、応援者により確認項目「八項目」を各家庭全てを回ることからはじめました。

一、地震に備える我が家のチェック一〇項目。二、地震発生その時の行動。三、家具転倒移動を防ぐ。四、非常食品など保有していますか。五、非常持ち出し袋は準備していますか。e t c : 区民約六十七%の方より回答を得、意識、関心、準備がいかになされているか、事細かに把握できたと思います。訓練前日多くの区民の方々の協力の下、訓練会場の設営を行い、翌朝午前九時より訓練が開始されました。中区を三グループに分け、グループ長の指示の下、グループ、班ごとでの避難訓練が始まりました。途中、津波訓練、負傷者救

護訓練、崩落現場確認訓練、などを行い訓練会場に到着。会場では多賀城消防署の方々により訓練資材が設置され、その一つ一つに区民の皆さんが真剣に取り組みました。訓練内容は、濃煙ハウス内通過体験、消火器+水消火器消火訓練、バケツリレー消火体験、救出+救護体験訓練、一一九番・一七一一災害伝言ダイヤル通報通話体験訓練、炊き出し訓練など数多くの訓練に、皆さんが真剣に取り組みました。中でも、濃煙ハウスでは「前が見えず怖かった」また、消火器訓練では実際にオイルに火をつけ、それを消火するという実践さながらの訓練に、驚きと怖さを実感しておりました。

後半、地震防災クイズ、防災避難訓練アンケートを参加者全員にお願いしました。今回の参加者は百三十一名で、アンケートに答えていただいた人数は九十六名でした。内容は回答者の年代、性別。これは五十代以上が多く、男女半々ぐらいでした。また、指定避難所までの移動時間の間には早い方で十分以内、おそい方で二十分以上でした。また、今日の訓練、今後の訓練にはいろいろな意見が寄せられました。いくつか記しますと、いろいろ参考になりました。今後とも訓練を続けて欲しい。避難経路を周知したほうが。いざというときのために今後も参加します。などなど。また、こんな意見もありました。疲れた・座る所が欲しい。時間が

が長い。等です。

これらの意見を参考に今後の防災訓練を、より充実にした内容にしていきたいと思えます。

今回の防災避難訓練にあたり、市役所交通防災課を始め、多賀城消防署、消防団第六分団団員の方々、災害のビデオ・トランシーバー等数多くの資材を貸与して頂いた大代北区長の加藤区長様、ご協力を頂いた中区の皆様にご感謝を申し上げ防災訓練の報告といたします。

### ポーター大会に

参加しませんか

コミュニティー体育部

大代地区コミュニティー主催のポーター大会を次の通り開催いたします。

期 日 十二月十四日(日)

場 所 一兆ポーター場

九時三十分集合 十時試合スタート

参加費 千円(靴代は各自負担)

申込締切 十二月六日(土)

申込場所 大代地区公民館に参加費を

添えて。

ありがとうございます

体育室舞台の袖幕を補修していただきました。

協力者 伊藤とも子さん、伊藤マサ子さん

小野くに子さん

(事務局)

## 公園内の犬の散歩

### (試行)の現況

仙台港多賀城地区緩衝緑地指定管理者

東北緑化環境保全株式会社

三月十七日から来園の皆様は快適で安全  
楽しく利用いただくために次の三項目

①犬を放し飼いにしない ②引綱(リード)は短く他人に迷惑をかけない ③フンは必ず自分で処理する を目標としてペットの入園について試行を開始して半年が経過いたしましたので、現在に至るまでの経緯ならびに経過をご報告させていただきます。  
試行以前当緩衝緑地はペットを入場させることを禁止する立看板を主要出入口に掲示し注意を促しておりましたが、二年程前からペット入場禁止を盾に犬を連れ来た園者に注意(威圧)するクレイマーが出没しはじめました。注意がエスカレートしてきて脅迫じみた行動も見受けられるようになり来園者とのトラブルを避けるために園内巡視回数を増やすなど警戒を強めていたところ、昨年十二月に警察を介入させるトラブルが発生してしまいました。来園者に危害がおよぶことなく、クレイマーを排除することを目的に対策を県と協議を重ね公園内の犬の散歩(試行)という形で実施に踏み切ったのが経緯です。試行直後は引綱(伸びるリード)を使用した方やフンを買物袋に入れ園内にポイ捨てする方、園内に備え

付けゴミ箱に捨てて帰られる方が後を絶たず大変苦勞いたしました。園内巡視の都度マナーの悪い方には口うるさいくらい注意させていただきました。そのかいがあつてか半年を経過した現在においてはマナーの向上が見受けられ園内は良好な状態を維持していると思われれます。県はまだペットの入場を認めたくわけはありませんので一日も早く試行の文字が取れますよう近隣住民の方々のご協力をお願いいたします。

## 大代の歩み(八)

大代南 渡邊 巖

大代村内で藩直轄で行われた『御林』事業は、寛文年間(一六六一〜一六七三)年頃から始まり、特に元禄一〜一〇(一六八八〜九七)年頃にかけて御舟入堀沿いに、その東西土手・柏木原・高原の他、合計十三個所に杉材を中心にする収益性の高い造・植林事業が積極的に進められたことが風土記に書出されている。

高原御林』黒松。大代村最古(寛文年間)の植林。長さ五町四〇間・幅一五間のであつたが元禄六(一六九三)年に藩主の鷹狩りの為に伐採され売払い代金半額は村に返還。(以下御林省略)。

公儀山』杉。長さ三町・幅六間。

御舟入堀西土手』杉。長さ七町・幅二町

御舟入堀東土手』松。長さ六町・幅三町

川前』檜。長さ一五間・幅一一間。

これらは何れも元禄元(一六八八)年頃の植林とされ、それ以後に行われた植林は次の通りである。

御舟入東土手揚土、式ツ山』杉。計二回一五〇本。

御舟入東土手石ヶ森山』杉。一回一〇〇本。

御舟入東土手』杉。一回一八六〇本

御舟入西土手』杉。計四回一一五三五本。

この内一回分は、天保五(一八三五)年から弘化二(一八四五)年までの間に新畑開拓の為に伐採されて畑地になった。

御舟入西金屑山』杉。一回三〇〇本

御舟入北金屑山』杉。一回九八〇本

柏木原』杉。計二回二八〇〇本

くわからたん(場所不詳)』杉。一回六五〇本。

開始以来三十六年間にわたり約四〇町歩の山野に一万九千三百本に及んだ大造植林(御林IIおんばやし)事業であった。

この事業の名残とも思える『御林』の地名(小字)が七ヶ浜町の東宮浜に現存。

(次号から信仰・伝説等を記載します)

## 戦争と耕英開拓地

大代南 星 繁子

暑かった夏も過ぎふと気がつくくと草むらでは秋を知らせる虫の音が急がしそくに鳴いています。遠からず冬がやってきます。思えば今年の終戦の日は私の頭からすつ

ぼり抜けておりました。昭和二十年の終戦以来こんなことは一度もなかったのに惚けたのだろうか？と我を疑った。よく考えたと今年の終戦の日は北京オリンピック。岩手宮城内陸地震と報道が忙しく頭に余裕がなかったのかなと思いつつも多感な少女時代を戦争生活で過ごした私達にとつて忘れてはならない日なのです。心ならずも戦場で命を落とし故郷に帰れなかった人々や国内でも空襲や原爆で亡くなった人々、今だに原爆症で苦しんでいる人など沢山の犠牲者があります。この人達の苦勞を無駄にしてはならないと思いました。そんな時に頭に浮かんだのが今回内陸地震で大きな被害を受けた栗駒耕英地区の人たちと戦争との関係です。今回の栗駒の地震の報道を聞いた時、一瞬耕英開拓地区ではと心配がよぎりました。報道が進むにつれその心配が的中し耕英地区に甚大な被害が出た事を知り、ああ、この世に神も仏もないのかと、出来ませんでした。時を六十数年前にさかのぼれば私は学校卒業後故郷の逼迫で三年程父の手伝いをしたことがあります。その時期は終戦後で食料や衣料も充分ではなく、それでも村のあちこちで復員者や一般人の引き揚げ者があり、我が家でもその人達の往來で外地での生の声を聞くことが出来ました。その中に耕英地区に入植した一人のお母さんがおり、引き揚げの目的地に着くまでの悲しい出来事を話し、着る物も

履く物も限られ数十里の道のりをはだし同然で歩いた。途中川があり子供を背負って泳いで川を渡り岸に着いたら背中の子供は息が絶えており泣く泣く川に葬って来た事など後悔しながら話していた。それでも国をうらんだりする言葉はなかった。父はその後その母親がおかれた経路を「すべてお上が悪い、今後どうするのか見届けよう」と怒りながら言っていた。今回被災された方達はその二代目の人達だと思えます。日本が日米戦争に突入し国の政策で満蒙開拓団が結成され栗原からも多数の入植者があり、満蒙の開拓（今の中国の奥地かと思えます）と一挑事ある時は兵隊にもなり国境の警備にも当たった人達とその家族が耕英開拓地の人達だと聞いております。この人達も戦争の犠牲者ではないのでしょうか？入植後も試行錯誤頑張って悪条件と戦いながら今日の生活を切り開いてきたのにと思うと残念でなりません。でもテレビのインタビューや報道で見ると限り応援された方々に感謝しながら頑張っている耕英開拓地の皆さんに逆に元気をもらおう今日です。今私に何が出来るのか考え中です。良い案があったら教えてください。



## 大代地区コミュニティ

### グランドゴルフ大会終了

去る十月十二日大代緑地公園において和気あいあいのなか開催致しました。入賞者は次の方々です。

#### 男性

優勝 西山 哲  
準優勝 渋谷 喜久三  
第三位 福島 嘉三

#### 女性

優勝 村上 政子  
準優勝 佐藤 君子  
第三位 渡辺 たけ子

以上 おめでとうございました

## ふれあい川柳

大代西 藤田 遊子

ひよつとこと細目の対決永田町  
ひよつとは捨てたる匙を拾いけり  
失敗はコンクリート工事で隠すらむ  
大臣は本音を吐ひて五日間  
百合子嬢本音を吐ひて閣外に  
働けど生活保護に叶はざり  
年金消え責任とりし人は無し  
永田町議員の給料削らざり  
袖の下貰つてしまえば検査せず